



2023年12月26日
第83号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



私たちの手で「責任追及から原因究明へ」の 安全哲学の再確立と働きやすい職場をつくり出す 2023 横浜地本政策フォーラム 大船支部提言発表

鉄道を支える系統別のプロを増やそう

要員不足で業務運営が逼迫する中で、新たな融合・連携も求められている。安全や鉄道運行の基本となる、各系統の専門人材を育成し、定着させるために必要なことを提言する。



はじめに

◆大船支部管内においても…



・昭和採用の先輩方が退職されるなか、新人も入ってこない…入ってきてても辞めてしまう…
・以前5~6人でやっていた作業を今では半分ほどの人数でやっている…

・休日出勤が常態化…。月2回、多い人では3回休出している人も…
・休みの日でも、休出依頼が電話がくる。休みでも休めた気がしない



→各系統ごとに課題を整理していく

私たちの提言

1. 要員の確保

- ① エリア職採用者数の増
- ② 標準数の明確化（退職者を含めないこと）
- ③ 労働条件の向上（離職の防止）
- ④ 65歳定年延長の実現

2. 本来業務に集中できる職場環境づくり

3. 系統別の教育体制の確立

12月16日（土）
日直もりた

主な議論

- ・要員不足は全系統の課題
- ・会社は何でもやらせて何かあったら自己責任。
- ・しっかり休む、休養を取ることも対策。

次号(小田原支部提言発表)に続く!